

令和5年度		昭島市立拝島第一小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表	
学校教育目標	○ やさしく(徳) ○ 強く(体) ○ よく考え(知) 手をつなぐ拝島の子	ビジョン	【目指す学校像】	○ 生き生きと学び、達成感を味わえる学校 ○ 安心して子供を預けられる信頼できる学校 ○ 働きがいのある学校(教職員にとって)	
			【目指す児童・生徒像】	○ 心身ともに健康な子 ○ 主体的・対話的で深い学びのできる子 ○ 互いに認め合い高め合う子	
			【目指す教師像】	○ 教育公務員としての自覚をもち使命を果たすために、絶えず研究と修養に努め、児童のために誠心誠意職務に励む教師	

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を行うとともに、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を目指す。	授業改善、評価の工夫、カリキュラムマネジメントの実施と、個別最適な学び、協働的な学びを目指す指導への挑戦	・ゴール(評価)を明確にし、逆算的に計画する学習展開の工夫 ・どの児童も参加しやすい問口の広い導入の工夫 ・教科横断的、問題解決的な学習 ・児童の実態把握、学力調査の分析、授業改善プラン作成・実践	4 4項目全て取り組むことができた。		4 92%以上の児童が授業に進んで取り組むと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 82%～92%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 72%～82%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 72%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答					
		基礎的基本的な学力を身に付けるための取り組みの提案と実施	・実態に合った学習スタンダードの見直しと取組の徹底 ・内容や方法を工夫し、誰もが意欲的に取り組める朝学習への取組 ・読書時間の取組の工夫 ・家庭学習の内容の工夫と習慣付け	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身に付いたと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 80%～90%未満の児童が身に付いたと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 70%～80%未満の児童が身に付いたと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が身に付いたと回答					
		特別支援教育の視点を生かした環境整備の充実、授業改善の推進	・個に応じた指導及びUDを意識した学習展開(焦点化・視覚化・共有化) ・UD意識した学習環境の整備(板書・見通し・掲示刺激・机上整理) ・困り感をもつ児童への個別の対応 ・保護者との共通理解	4 4項目全て取り組むことができた。		4 92%以上の児童が授業が分かると回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 82%～92%未満の児童が授業が分かると回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 72%～82%未満の児童が授業が分かると回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 72%未満の児童が授業が分かると回答					
豊かな心	自分も仲間も大切にし、お互いのよさを認め合い、相手を思いやる心を育て、楽しい学校生活を実感し、自己の生き方を深めることのできる児童の育成を目指す。	道徳授業の質の向上を図り、自ら考え、日常生活に活かし、互いに認め合う児童の育成	・よさを認め、互いに必要とされる実態ももてる学級経営 ・価値を明確にした授業づくりと、自己と向き合う学習展開の工夫 ・年間計画の確実な実施 ・全教育活動に関連付けた指導	4 4項目全て取り組むことができた。		4 92%以上の児童が大切さを学ぶことができたと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 82%～92%未満の児童が大切さを学ぶことができたと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 72%～82%未満の児童が大切さを学ぶことができたと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 72%未満の児童が大切さを学ぶことができたと回答					
		いじめの未然防止と早期対応を推進し、問題行動に素早く気づき対応し、安心して通える学校運営の実現	・人権教育プログラムの活用 ・生活指導タ省会での情報共有と素早い対応、報道相の徹底 ・いじめアンケートの確実な実施と日常からの未然防止と早期対応 ・ふれあい月間の取組	4 4項目全て取り組むことができた。		4 92%以上の児童が判断できたと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 82%～92%未満の児童が判断できたと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 72%～82%未満の児童が判断できたと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 72%未満の児童が判断できたきたと回答					
		人や自然、文化との関わりを通して、本物と出会い自尊感情や自己有用感を高める実践への取組	・ゲストティーチャーによる学び ・実践、体験的活動の充実 ・栽培体験活動の実施 ・縦割り班活動の充実	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が体験学習は楽しいと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 80%～90%未満の児童が体験学習は楽しいと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 70%～80%未満の児童が体験学習は楽しいと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が体験学習は楽しいと回答					
健やかな体	健康で安全な生活について自ら考え、仲間と協力して実践しようと挑戦する、心身ともに健康でたくましい児童の育成を目指す。	心身ともに健康で、安全に過ごすために、自己管理のできるたくましい児童の育成	・グッドモーニング60分の取組 ・ノーマedia習慣の取組 ・安全、防災教育の確実な実施とふりかえりの重視 ・チャレンジ精神、ルール尊重、ファエプレーの大切さを指導・実践	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が安全健康についていかずと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 80%～90%未満の児童が安全健康についていかずと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 70%～80%未満の児童が安全健康についていかずと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が安全健康についていかずと回答					
		一人一人が自らの体力を知り、自分に合った方法を考え、体力向上に取り組む	・めあてが明確な学習の展開 ・元氣アップガイドブックを活用した、体力運動能力調査の分析と、具体的な取り組みの推進 ・体育朝会の取組と授業での活用 ・ミニ研修会の実施と活用	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が体力付いていると回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 80%～90%未満の児童が体力付いていると回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 70%～80%未満の児童が体力付いていると回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が体力付いていると回答					
		食の大切さや健康について学び、自らの健康について考えることのできる取組	・お弁当の日に自ら考え取り組む ・保健指導から、自分の体についての学び ・健康教育(性犯罪等)への取組 ・外部人材を招聘しての交流や講話や実技指導の取組	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童がお弁当の日工夫できたと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 80%～90%未満の児童がお弁当の日工夫できたと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 70%～80%未満の児童がお弁当の日工夫できたと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童がお弁当の日工夫できたと回答					
輝く未来	自分のよさを見付け、仲間と協力して活動し、苦手なことにも失敗を恐れず取り組み、役に立つ喜びを自信につなげ自己肯定感を高め、未来に向けて夢と希望をもち実現しようと努力する児童の育成を目指す。	学級会活動をはじめ、全教育活動における、キャリア教育の充実	・学校生活への適応 ・仲間づくり、集団の結束 ・自らの役割の自覚 ・年間指導計画に応じた、キャリア教育実践の充実(キャリアアルバムを活用)	4 4項目全て取り組むことができた。		4 92%以上の児童が生活を振り返り、よりよくしようと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 82%～92%未満の児童が生活を振り返り、よりよくしようと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 72%～82%未満の児童が生活を振り返り、よりよくしようと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 72%未満の児童が生活を振り返り、よりよくしようと回答					
		幼・保・小・中の連携について、効果的な方法を検討し実践する。	・スタートカリキュラムの理解と推進 ・年3回の中学校区の計画的な交流活動 ・小中連携の具体的な方策の検討・実践 ・幼・保との連携、交流活動	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が自分の得意なことを考えたと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 80%～90%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 70%～80%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答					
		地域とのかかわり、ICT活用した世界とのかかわりを意識し、持続可能な社会づくりを意識した取組	・地域人材や環境を活用した学習 ・タブレット端末の積極的な活用 ・SNS家庭ルールの普及と、情報モラル教育の充実 ・環境をはじめとするSDG'sを意識した活動	4 4項目全て取り組むことができた。		4 92%以上の児童が地域の方とのふれあいと回答					
				3 3項目は取り組むことができた		3 82%～92%未満の児童が地域の方とのふれあえたと回答					
				2 2項目は取り組むことができた。		2 72%～82%未満の児童が地域の方とのふれあえたと回答					
				1 1項目しか取り組めなかった。		1 72%未満の児童が地域の方とのふれあいえたと回答					